

令和5年度第4回小中一貫教育推進委員会「小学校教育課程部会」

日 時 令和5年12月15日（金） 15：30～

場 所 砂川市立砂川小学校 2階会議室

開 会

1 部会長挨拶

2 協議事項

(1) 砂川市小学校「学習スタンダード（改訂版）」（案）について

(2) 保護者用『砂川市小学校「学習スタンダード」』（案）について

(3) 年間指導計画等の作成について

(4) その他

3 連絡事項

4 その他

閉 会

2 協議事項

(1) 砂川市小学校「学習スタンダード（改訂版）」（案）について【別冊1 P1~】

(2) 保護者用『砂川市小学校「学習スタンダード」』（案）について【別冊1 P4~】

(3) 年間指導計画等の作成について

ア 作成スケジュール



イ 担当教科分担

学 校	担当教科			自校にて作成	
砂川小	国語	書写	体育	特別活動	総合的な学習の時間 ※次回会議で原案提示
豊沼小	社会	音楽			
中央小	外国語	外国語活動	図画工作		
空知太小	算数	道徳	家庭		
北光小	理科	生活			

※ 教職員人数、専科配置状況等を勘案して分担

ウ 作成にあたって

①作成する必要があるものについて

A 年間指導計画・評価計画

B 単元配当表

②作成枠について【別紙1】

③本市の小中一貫教育の推進を通して子どもたちに身に付けさせる「育成を目指す資質・能力」及び指導計画作成にあたって留意すべき点について

No			育成を目指す資質・能力
1	知 ↓ 各教科	自分から進んで学習に取り組むことができる力	主体性
2		毎日コツコツと学習を続けることができる力	粘り強さ
3		友達や周りの人たちと力を合わせて考えながら、課題を解決する力	協働性

<p>〔留意点〕</p> <p>○単元を見通して「主体的に学ばせる」時間と「協働的に学ばせる」時間を計画的に配置する：1・3</p> <p>○全国学力・学習状況調査の時数を確保しておく（6年生4月）</p> <p>○チャレンジテストの時数を確保しておく（全学年4月・7月・12月）</p>			
4	徳 ↓ 道徳科	周りの人に元気にあいさつして、多くの人と円滑な関係を築く力	あいさつ
5		周りの人に親切な気持ちでふれ合うことができる力	親切さ・思いやり
6		自分や他者の思いや考えをしっかりと伝え合うことができる力	コミュニケーション能力
<p>〔留意点〕</p> <p>○内容項目「親切、思いやり」「礼儀」「相互理解、寛容」について：4～6</p> <p>1. 実施時期を全学年でそろえる（学期初め、行事前 など戦略的に）</p> <p>2. 上記3つの内容項目について、年間を通して複数回取り上げる</p>			
7	体 ↓ 保健体育	規則正しい生活を自分の力で送ることができる力	基本的な生活習慣
8		体を動かすことは楽しいと感じたり思ったりすることができる力	運動の楽しさの実感
9		ケガや事故に遭わない安全な生活を送り、災害時に身を守ることができる力	危機回避力
<p>〔留意点〕</p> <p>○単元において「伸び」や「成長」を時間できる場面（時間）を設ける：8</p> <p>○外部人材を活用したり、関係機関と連携したりした多様な学習活動を設定する</p> <p>○避難訓練や1日防災学校などの学校行事等と指導内容・時期の関連性を図る</p> <p>○新体力テストに取り組む時数を確保しておく（全学年4月・7月・12月）</p>			
10	郷土 ↓ 総合	パソコンなどのICT機器を含めた情報ツールを活用して、情報収集したり適切にまとめたりできる力	情報処理力
11		外国の言語や文化を知ったり、外国の方と交流したりすることができる力	国際理解力
12		将来どんな仕事についたり、どんな人生を送るか考えることができる力	キャリア形成力

上記〔留意点〕を踏まえて、各教科等の年間指導計画を作成する。

④総合的な学習の時間（案）について【別冊2】

⑤作成物の提出について

- 提出期日：令和6年2月15日（水）
- 提出先：砂川市教育委員会指導参事まで
- 提出方法：データを入れたUSBを外勤で届けてください

●その他

- ・上記を踏まえて作成してください。
※「育成を目指す資質・能力」を高めるために効果的な学習内容、配当時数を設定してください。
- ・各学校で担当する教科の作成内容については、しっかりと間違い等の確認をした上で、提出をお願いします
- ・事務局で最終チェックを行った後、小中一貫教育推進委員会に諮り、決定します。
決定後、再度USBで各校に全教科の完成データをお届けします。
※3月中旬を目途

(4) その他

3 連絡事項

(1) 各学校との授業交流について ※事務局が把握しているものは記載済み

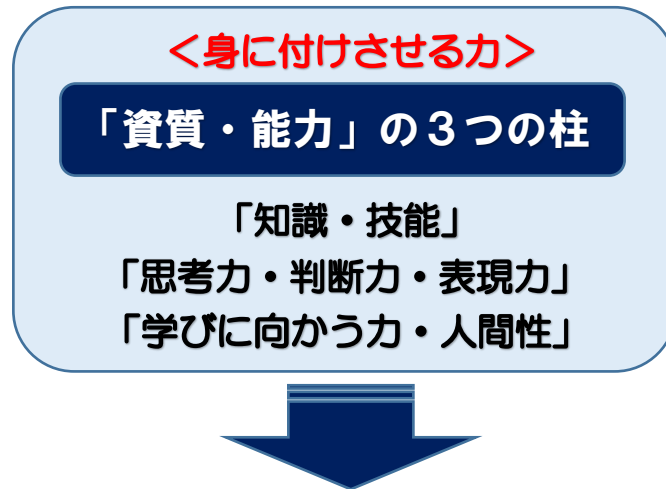
	日にち	時間	教科	備考
砂川小	9月 6日 (水)	2時間目	社会⑥	砂教研サークル
	9月13日 (水)	5時間目	外国語⑤	
	10月25日 (水)	5時間目	体育①	砂教研サークル
豊沼小	11月22日 (水)	3時間目	体育③④	
中央小	11月20日 (火)	5時間目	国語⑥	
空知太小	10月19日 (木)	2時間目	算数④	その他10～11月に 3つの授業公開を予定
	11月14日 (火)	5時間目	算数⑤	
	11月15日 (水)	5時間目	国語⑥	
	11月24日 (金)	2時間目	体育③	
北光小	9月 1日 (金)	5時間目	算数④⑤	へき複公開研
	11月 8日 (水)	5時間目	算数②③	
砂川中	11月30日 (木)	3時間目	国語②	

※取組は、「～ねばならぬ」ではなく、「～てもよい」という気軽な感覚で。

4 その他

1 はじめに

学習指導要領で示されている「3つの柱」



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

目指す児童生徒像【確かな学力】
よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

2 学びの姿勢

(1) 学習のきまり

＜授業前＞

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具～机上整理→(2)
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

＜授業中＞★正しい姿勢で座ります。

【聞く】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。
(同じです。いいです。他にあります。など)

【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさと語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

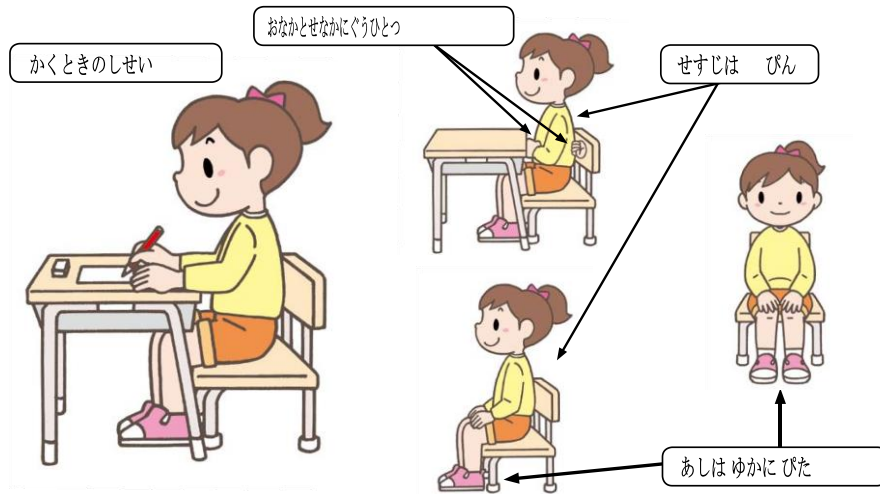
【書く】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

- ① 正しい姿勢で書きます。
- ② 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



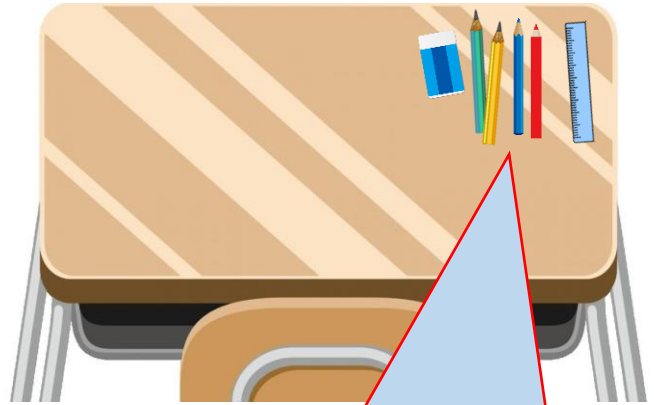
＜授業後＞★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

しせいの ものさし ぐう・ぴた・ぴん



(2) 机上の整理

鉛筆	1年 2B 2年 2BまたはB 3年~BまたはHB
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年~ ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15cm定規	1年生から使用 折りたたみ式不可



(3) 筆入れに入れる物

- ①鉛筆5本程度
- ②色鉛筆（ボールペン）
- ③消しゴム
- ④定規（15cm）
- ⑤油性ネームペン（2年生以上）

机の上には、学習に集中できるように余計な物は置かない。

基本的には、【鉛筆・消しゴム・色鉛筆またはボールペン（青と赤）・定規】とし、柄はシンプルなもの。端から定規・鉛筆・消しゴムの順（またはその逆）に置くと鉛筆を落とすことが少なくなる。「置く順序」や「縦向き・横向き」「位置」などは、状況に応じて対応する。

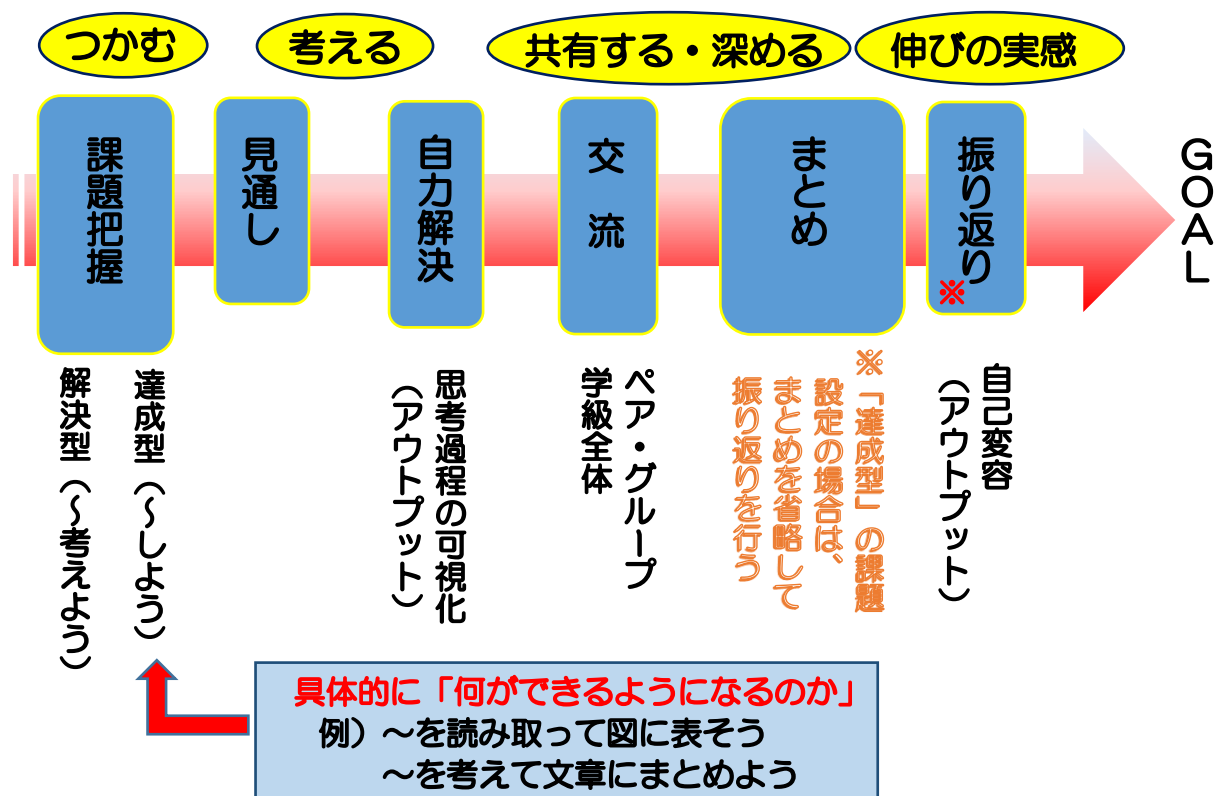
(5) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	
社会			5ミリ方眼 十字リーダー入	
理科			5ミリ方眼 十字リーダー入	
その他	【必要に応じて】連絡帳・自由帳		5ミリ方眼 十字リーダー入	

3 授業の流れ

(1) 1 単位時間の授業展開



(2) 振り返り

子供自身に「振り返り」の意義を実感させ、授業を通して「振り返り」の習慣化を図る工夫、次時の授業への期待を高めることや家庭学習などへつなげることが必要です。

【「振り返り」の指導ポイント】

- ◆ 「振り返り」の目的を子供たちに伝えること。
- ◆ 「振り返り」の時間をしっかり確保し、習慣化すること。
- ◆ 「課題」と「振り返り」がつながるように、振り返る視点を児童生徒に示すこと。
- ◆ 「振り返り」につながる板書・ノートを工夫すること。

【振り返りの視点 (例)】

習得	・ 学びの変容を振り返る	「〇〇が分かった。」 「〇〇ができるようになった。」 【例】 「登場人物の気持ちを読み取るには、その言葉や行動に着目すれば読み取れることが分かった。」
	・ 学びの過程や結果を振り返る	「〇〇することが分かった。」 「〇〇することができるようになった。」 【例】 「いくつかの資料を比較して読むことで、江戸時代の農民と武士の生活の様子が分かった。」
	・ 交流を振り返る	「〇〇な考え方もあるんだ。」 「Aさんはなぜ、こう考えたのだろう。」 (「問い」) 【例】 「最初はAさんの考えに反対だったが、話し合いを通して、Aさんの考えが少し理解できるようになった。しかし、自分は〇〇なので～」 「(サーブは) 上から打つ方が絶対いいと思っていたけれど、作戦タイムを通して、いろいろな打ち方を試してみようと思った。」
活用探究	・ 活用問題に取り組み ・ 他の単元・教科で活用する ・ 次につなげる	「〇〇でもできるかやってみよう。」 「もっと〇〇について考えたい。」 「もし〇〇だったらどうかな。」 (「問い」) 【例】 「あさがおの育て方を勉強したので、今度は家でひまわりを育ててみたいと思いました。」 「お礼状の書き方を学んだので、職場体験でお世話になった職場の方にお礼状を書いてみたい。」

【保護者の皆様へ】 砂川市立小学校「学習スタンダード」

1. はじめに

砂川市の小学校では、市内統一した『学び方』（授業スタンダード）を設定し、どの学校でも同様の学びが進められることにより、5校が1校になった時の子どもたちの戸惑いを軽減させるとともに、市内全ての子どもたちに、学習指導要領で示されている3つの資質・能力を確実に身に付けさせ、「目指す児童生徒像」の実現に向けた小中一貫教育を推進します。

■■■■■■■■ 学習指導要領で示されている 「3つの柱」 ■■■■■■■■

＜すべての子供たちに身に付けさせる力＞

「資質・能力」の3つの柱

「知識・技能」

「思考力・判断力・表現力」

「学びに向かう力・人間性」

これまでの各教科等の「目標」「内容」の記述が、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力の3つの柱で再整理されました。このことによって、学習を通して『何ができるようになるか』という「育成を目指す資質・能力」が明確になりました。

砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

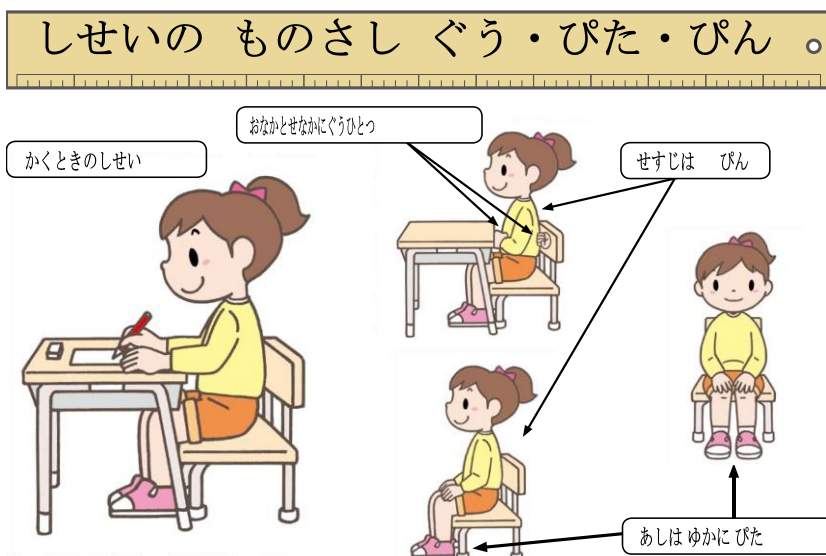
目指す児童生徒像【確かな学力】

よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

2. 学びの約束

(1) 授業を受ける時の姿勢

背筋を伸ばして正しい姿勢を身に付けることには、「持続力」や「集中力」がつくなど、学習効率の向上につながる効果があります。



(2) 学習のきまり

<授業前>

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具 ⇒ (3) 机上の整理
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

<授業中> ★正しい姿勢で座ります。

【聞<】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。(同じです。いいです。他にあります。など)

【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさを語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

【書<】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

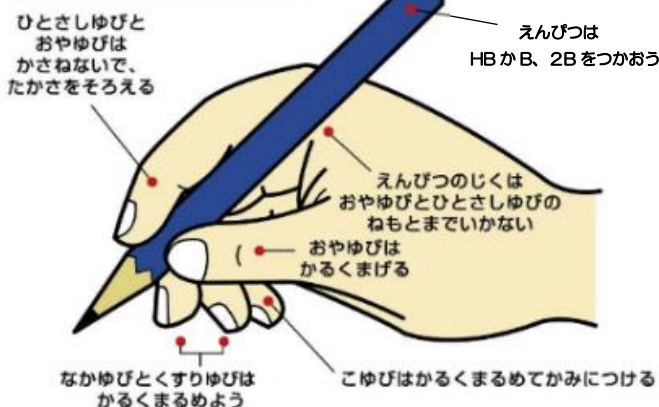
- ① 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ② 正しい姿勢で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



<授業後> ★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

えんぴつのもちかた

よいもちかた



★ご家庭でもお声掛けを！★

間違った持ち方が定着してしまうと、正しい持ち方に矯正するのは難しくなります。
 「それなりに字が書けるなら、持ち方は関係ないのでは？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、えんぴつを正しく持たないと、疲れやすかったり上手に書けなかったりしてしまい、その結果、長く学習を続けられない、姿勢が悪い、集中力や勉強への意欲低下につながるなど、学力低下の要因になることもあります。

(3) 机上の整理

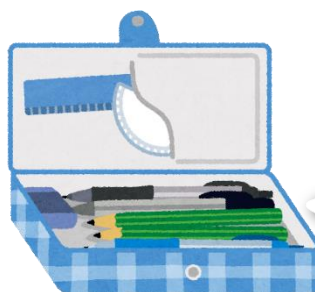
鉛筆	1年 2B 2年 2BまたはB 3年～ BまたはHB
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年～ ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15cm定規	1年生から使います 折りたたみ式は不可です



学習に集中できるように余計な物は置かず、「鉛筆・消しゴム・色鉛筆（ボールペン 青と赤）・定規」を基本とし、柄はシンプルなものを推奨します。

(4) 筆入れに入れる物 **★お願いします★**

- 鉛筆5本程度
- 色鉛筆（ボールペン）
- 消しゴム
- 定規（15cm）
- 油性ネームペン（2年生以上）



分度器や定規は、目盛りの読みやすさの観点から、イラストのない透明でシンプルなものを用意してください。

(5) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼	十字リーダー入
社会			5ミリ方眼	十字リーダー入
理科			5ミリ方眼	十字リーダー入
その他	【必要に応じて】連絡帳・自由帳		5ミリ方眼	十字リーダー入

(6) 学校に置いてよい物

学校では、子どもたちの道具の持ち運びに係る負担を軽減させるため、右の物を学校に置いてよいこととします。

★持ち物への記名を忘れずに！★

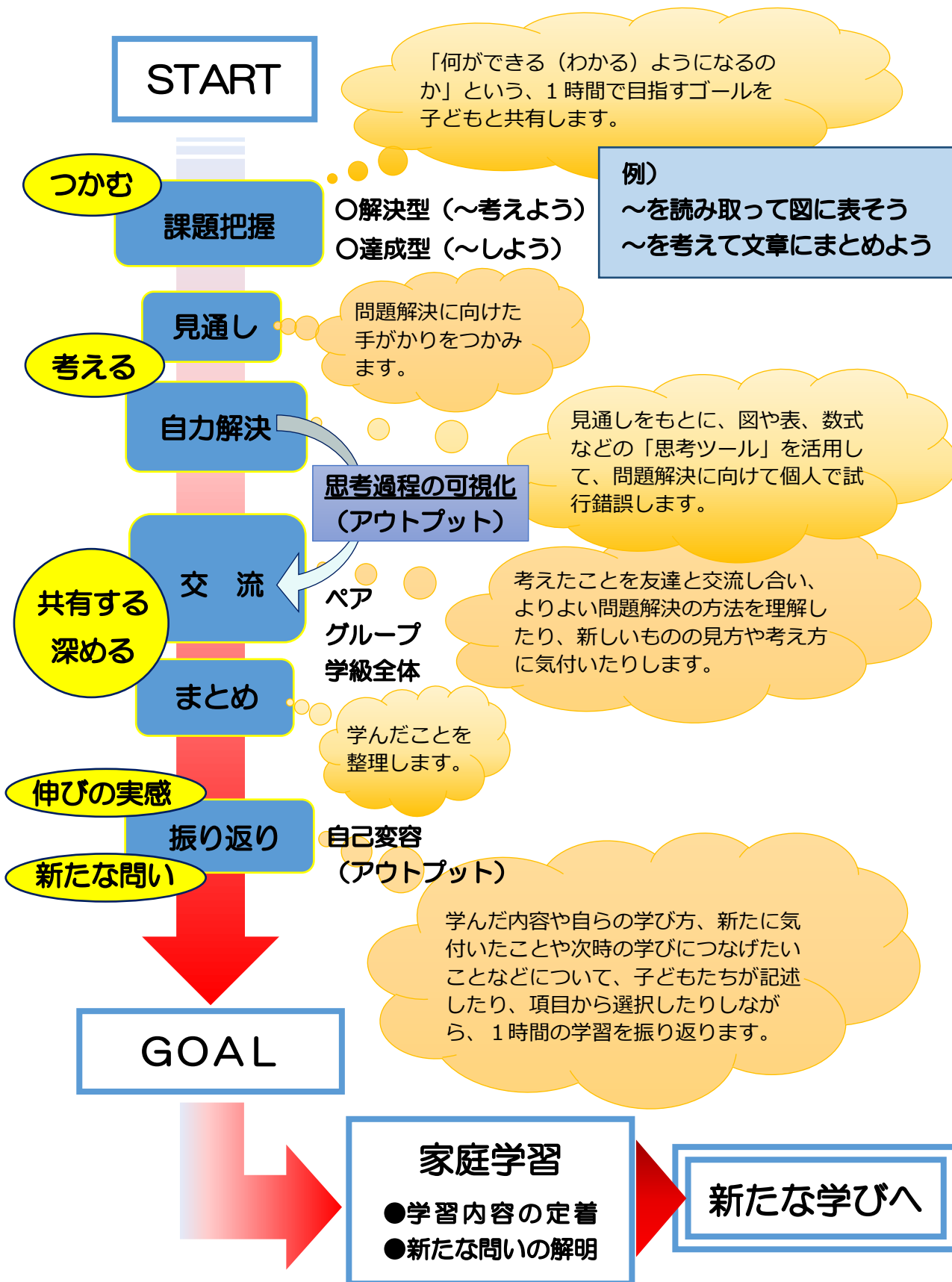


- 教科書（書写・生活・図工・音楽・道徳・家庭・保健体育）
- リコーダー ○鍵盤ハーモニカ ○習字セット ○裁縫セット
- お道具袋 ○絵の具セット ○紅白帽子 ○とびなわ



3. 授業の流れ

砂川市内の小学校では、各教科の1単位時間の授業について、以下のような流れを基本として行い、子どもたちの学びの力を高めます。



採択した小学校用教科用図書一覧

北海道第5採択地区教科用図書採択教育委員会協議会

種 目	発 行 者		教 科 書 名	備 考
	番号	略称		
国 語	038	光 村	こくご一上 かざぐるま、こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ、こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば、国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき、国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造	令和5年度 協議会 採 択
書 写	038	光 村	しよしゃ 一ねん しよしゃ 二年 書写 三・四・五・六年	令和5年度 協議会 採 択
社 会	017	教 出	小学社会 3・4・5・6	令和5年度 協議会 採 択
地 図	046	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	令和5年度 協議会 採 択
算 数	017	教 出	しょうがくさんすう 1 小学算数 2上下・3上下・4上下 小学算数 5・6	令和5年度 協議会 採 択
理 科	017	教 出	みらいをひらく 小学校理科 3 未来をひらく 小学校理科 4・5・6	令和5年度 協議会 採 択
生 活	017	教 出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ	令和5年度 協議会 採 択
音 楽	017	教 出	小学音楽 おんがくのおくりもの1 小学音楽 音楽のおくりもの2・3・4・5・6	令和5年度 協議会 採 択
図画工作	116	日 文	ずがこうさく 1・2上下 まるごとたのしもう 図画工作 3・4上下 ためす見つける 図画工作 5・6上下 わたしとひびき合う	令和5年度 協議会 採 択
家 庭	009	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6	令和5年度 協議会 採 択
保 健	224	学 研	新・みんなのほけん 3・4 新・みんなの保健 5・6	令和5年度 協議会 採 択
特別の教科 道 徳	017	教 出	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2・3 はばたこう明日へ 小学道徳4・5・6 はばたこう明日へ	令和5年度 協議会 採 択
外国語	017	教 出	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6	令和5年度 協議会 採 択
学校教育法附則 第9条に規定す る教科用図書	各学校の希望を踏まえ、各市町教育委員会において児童・生徒の障がいの種類、程度に応じて北海道第5採択地区採用教科書、文部科学省著作教科書、一般図書として「採択参考資料」にある内から採択する。			令和5年度 協議会 採 択

採択した中学校用教科用図書一覧

北海道第5採択地区教科用図書採択教育委員会協議会

種 目		発 行 者		教 科 書 名	備 考
		番号	略称		
国 語		038	光村	国語 1 国語 2 国語 3	令和 2 年度 協議会 採 択
書 写		038	光村	中学書写 一・二・三年	令和 2 年度 協議会 採 択
社 会	地理的分野	017	教出	中学社会 地理 地域にまなぶ	令和 2 年度 協議会 採 択
	歴史的分野	017	教出	中学社会 歴史 未来をひらく	令和 3 年度 協議会 採 択
	公民的分野	017	教出	中学社会 公民 とともに生きる	令和 2 年度 協議会 採 択
地 図		046	帝国	中学校社会科地図	令和 2 年度 協議会 採 択
数 学		017	教出	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	令和 2 年度 協議会 採 択
理 科		002	東書	新しい科学 1 新しい科学 2 新しい科学 3	令和 2 年度 協議会 採 択
音 楽	一 般	017	教出	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3下 音楽のおくりもの	令和 2 年度 協議会 採 択
	器楽合奏	017	教出	中学器楽 音楽のおくりもの	令和 2 年度 協議会 採 択
美 術		116	日文	美術 1 美術との出会い 美術 2・3上 学びの実感と広がり 美術 2・3下 学びの探求と未来	令和 2 年度 協議会 採 択
保 健 体 育		224	学研	中学保健体育	令和 2 年度 協議会 採 択
技 術 ・ 家 庭	技術分野	009	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	令和 2 年度 協議会 採 択
	家庭分野	009	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	令和 2 年度 協議会 採 択
外国語（英語）		002	東書	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	令和 2 年度 協議会 採 択
特別の教科 道 徳		002	東書	新訂 新しい道徳 1 新訂 新しい道徳 2 新訂 新しい道徳 3	令和 2 年度 協議会 採 択
学校教育法附則 第 9 条に規定す る教科用図書		各学校の希望を踏まえ、各市町教育委員会において児童・生徒の障がいの種類、程度に応じて北海道第5採択地区採用教科書、文部科学省著作教科書、一般図書として「採択参考資料」にある内から採択する。			令和 2 年度 協議会 採 択

教育出版 2023年9月

令和6年度版『小学算数6』年間指導計画・評価計画(案)

*は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

● みんなで算数をはじめよう! / 不思議なパスカルの三角形

4月上旬 (2時間)
p.2~10

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
2	2 5 1 0	みんなで算数をはじめよう! / 算数で使いたい見方・考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「みんなで算数をはじめよう!」及び「算数で使いたい見方・考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・問題解決の進め方を理解している。	
		不思議なパスカルの三角形		・パスカルの三角形のしくみを調べ、いろいろなきまりを見つける。また、パスカルの三角形の中に現れる数を倍数などに着目して色を塗り、規則的な模様を見つける。 ★ワークシート「パスカルの三角形(1)(2)」を使って活動する。		
<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。</p> <p>・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。</p>						

1 文字を使った式

4月上旬～中旬（6時間）
p.11～21

◆単元の目標と評価規準

○数量を表す言葉や□、○、△などの記号の代わりに、 x 、 a 、 b などの文字を用いて式に表すことを理解し、問題場面の数量の関係を、式を用いて簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、文字を用いた式の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)、A(2)イ(ア)】

- ・数量を表す言葉や□、○、△などの記号の代わりに、 x 、 a 、 b などの文字を用いて式に表したり、文字に数をあてはめて調べたりすることができる。<知・技>
- ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。<思・判・表>

・文字を用いた式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	
4	1 1 1 8	(まだわかっていない数を表す文字) (数量の関係を表す文字) (いろいろな数があるはまる文字)	①□、○、△などの記号の代わりに、 x 、 a 、 b などの文字を用いて式に表すことを理解する。 ※(問題発見力モデル)本時の活動をとおして、「はてな?」の見つけ方を学習する。	・「誕生日をあてはめて計算すると...?」の活動に取り組み、「不思議な計算」の答えが誕生日の数字の並びと同じになることに問いをもち、ほかの場合でも同じになるか調べてみる。 ・「不思議な計算」の式のどの部分に着目するとしくみが説明できるのかという新たな問いを見だし、□や○、△などの記号を用いて説明するとともに、これらの記号の代わりに x 、 a 、 b などの文字を用いる場合があることを知る。	・□、○、△などの記号の代わりに、 x 、 a 、 b などの文字を用いて式に表すことを理解している。	・問題場面の数量の関係を、式を用いて簡潔かつ一般的に表現したり、□、○、△などを用いて表した式をよみ取ったりしている。	
			[「不思議な計算」をアレンジしてみよう]	・「不思議な計算」のしくみに着目し、手順を変えても式が成り立つ場合を考える。			
			[つながるミカタ]	・文字を用いることで「不思議な計算」のしくみを式に表して考えられたよさを振り返り、ほかの場合でも文字を用いることに関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・未知の数量を x などの文字を用いて式に表し、あてはまる数を求めることができる。		
			②未知数がある場面を、文字を用いた式に表すことができる。	・6年生で習う漢字の数を求める場面で、文字 x を用いて式に表し、問題を解決する。			
		(数量の関係を表す文字)	③2つの数量の関係を、文字を用いた式に表すことができる。	・高さ4cmの平行四辺形の底辺の長さと同面積の関係を、2つの文字 x 、 y を用いた式に表す。	・2つの数量の関係を x 、 y などの文字を用いて式に表し、文字に数をあてはめて調べることができる。		
		(いろいろな数があるはまる文字)	④計算のきまりを文字を用いた式に表し、文字にいろいろな数をあてはめて式が成り立つことを確かめることができる。	・交換法則、結合法則、分配法則を、文字 a 、 b 、 c を用いて式に表し、文字 a 、 b 、 c にいろいろな数をあてはめて計算のきまりが成り立つことを確かめる。	・計算のきまりを a 、 b 、 c などの文字を用いて式に表し、文字にいろいろな数をあてはめて調べることができる。		
1	1 9	学んだことを使おう	⑤身のまわりの問題に文字を活用し、文字を用いる場面やよさについて理解を深める。	・「文字を使って考えよう!」という目的意識から、300円のジュース1本と120円のおにぎりを買えるだけ買う場面を、文字を用いた式に表し、文字に数をあてはめて問題を解決する。		・具体的な場面と文字を用いた式を結びつけて捉え、文字に数をあてはめて問題を解決している。	
1	2 0 1 5	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「文字を使った式」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
			[偶数と奇数を表す式]	・偶数や奇数を、文字を用いて一般的に表せることを知る。			
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・文字を用いた式のよさに気づき、主体的に式に表現したり、式の意味をよみ取ったりするなど、生活や学習に用いようとしている。							

◎ 復習①

頁	学習活動
2 2 3 5	・第5学年までの学習内容の復習をする。

2 分数と整数のかけ算、わり算

4月下旬～5月上旬（7時間）
p.24～36

◆単元の目標と評価規準

○分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)、A(1)イ(ア)】

- ・分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。<知・技>
- ・分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算のしかたを多面的に捉え考えている。<思・判・表>
- ・分数×整数の乗法、分数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
3	2 4 5 3 0	分数に整数をかける計算	①②分数×整数の乗法の計算のしかたを理解する。 ※(問題解決力モデル)本時の活動をとおして、「なるほど!」の見つけ方を学習する。	・「どのようにかけ算、わり算を広げてきたかな?」の活動をきっかけに、計算を拡張してきた過程を振り返り、分数の乗法、除法が未習であることに気づく。 ・ $2/7 \times 3$ のような、分数×整数の乗法の計算のしかたを考える。また、自他の考えを比較し、考え方のよさを振り返ってまとめる。 ★まとめアニメ「分数×整数の計算のしかた」を使って確認・説明する。	・分数×整数の乗法の計算のしかたを理解し、計算ができる。	・乗数が整数である場合の分数の乗法の計算のしかたを、分数の意味や表現、既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。
			[友だちのノートを見てみよう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。		
			③分数×整数の乗法で約分をする場合や、帯分数×整数の乗法の計算のしかたを理解する。	・ $7/12 \times 4$ のような、途中で約分できる乗法の計算のしかたを考える。 ・ $1\frac{2}{3} \times 4$ のような、帯分数の乗法の計算のしかたを考える。	・分数×整数の乗法で約分する場合や、帯分数×整数の乗法の計算のしかたを理解し、計算ができる。	
3	3 1 5 3 4	分数を整数でわる計算	[つながるミカタ]	・分数×整数の計算のしかたについて、整数の計算を使って考えるために「分子が1の分数をもとにして、その何個分」という見方をしたことを振り返り、除法の場合にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。		・除数が整数である場合の分数の除法の計算のしかたを、分数の意味や表現、既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。
			④分数÷整数で、分子をわりきることができる場合の除法の計算のしかたを理解する。	・ $4/5 \div 2$ のような、分子をわりきることができる場合の除法の計算のしかたを考える。		
			⑤分数÷整数の除法の計算のしかたを理解する。	・ $4/5 \div 3$ のような、分数÷整数の除法の計算のしかたを考える。 ★まとめアニメ「分数÷整数の計算のしかた」を使って確認・説明する。	・分数÷整数の除法の計算のしかたを理解し、計算ができる。	
1	3 5 6 5	まとめ	⑥帯分数÷整数の除法の計算のしかたを理解する。	・ $1\frac{4}{5} \div 2$ のような、帯分数の除法の計算のしかたを考える。	・帯分数÷整数の除法の計算のしかたを理解し、計算ができる。	
			⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「分数と整数のかけ算、わり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。
・分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしていたりしている。

◎ 復習②

頁	学習活動
3 7	・「文字を使った式」の復習をする。 ・単元3「対称な図形」に関わる既習事項を確認する。

3 対称な図形

5月中旬～下旬（11時間）
p.38～53

◆単元の目標と評価規準

○対称な図形について理解し、対称性といった観点から図形の性質を考察したり、線対称な図形や点対称な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 B(1)ア(イ)、B(1)イ(ア)】

- ・対称な図形について理解し、線対称な図形や点対称な図形を作図することができる。<知・技>
- ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
4	3 8 4 5		①②③図形の対称性について見直しをもち、線対称な図形、対称の軸、点対称な図形、対称の中心の意味を理解する。 ※(問題追究力モデル)本時の活動をおとして、「だったら!」の見つけ方を学習する。	・「整った形を見つけよう!」の活動をきっかけに、図形の対称性に関心をもつ。 ・図形の特徴を調べて、線対称な図形と点対称な図形を分類する。 ・図形を2つに折ることをとおして、線対称な図形、対称の軸の意味を知る。 ★まとめアニメ「線対称な図形」を使って確認・説明する。 ・図形を180°回転させることをとおして、点対称な図形、対称の中心の意味を知る。 ★まとめアニメ「点対称な図形」を使って確認・説明する。 ・線対称な図形と点対称な図形の特徴を振り返り、どちらも合同な図形に分けられるという共通点に着目するとともに、対称な図形について次に取り組んでみたいことを考え、新たな問題を発見する。	・線対称な図形と対称の軸、点対称な図形と対称の中心の意味を理解している。	・図形を観察する観点として、図形の対称性に着目している。
			④対称な図形の対応する頂点、辺、角について理解する。	・線対称な図形及び点対称な図形の対応する頂点、辺、角について知る。 ★まとめアニメ「対称な図形の性質」を使って確認・説明する。	・線対称な図形や点対称な図形では、対応する辺の長さ、対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを理解し、対応する頂点、辺、角を見つけることができる。	
			[線対称? 点対称?]	・線対称であり点対称でもある形について知る。		
2	4 6 4 7	線対称な図形の性質	⑤線対称な図形の性質を理解する。	・線対称な図形の対応する頂点を結ぶ直線と対称の軸との関係を調べ、線対称な図形の性質を知る。 ★まとめアニメ「線対称な図形の性質」を使って確認・説明する。	・線対称な図形の性質を理解している。	・対称な図形について、図形を構成する要素の関係を考察して性質を見いだすとともに、その性質をもとに作図のしかたを考え
		(線対称な図形のかき方)	⑥線対称な図形を作図することができる。	・線対称な図形の性質をもとに、線対称な図形の残りの半分のかき方を考える。	・線対称な図形を作図することができる。	
4	4 8 5 1	点対称な図形の性質	⑦点対称な図形の性質を理解する。	・点対称な図形の対応する頂点を結ぶ直線と対称の中心との関係を調べ、点対称な図形の性質を知る。 ★まとめアニメ「点対称な図形の性質」を使って確認・説明する。	・点対称な図形の性質を理解している。	・対称という観点から既習の図形を捉え直し、図形を分類整理したり、分類した図形の特徴を見いだしたりしている。
		(点対称な図形のかき方)	⑧点対称な図形を作図することができる。	・点対称な図形の性質をもとに、点対称な図形の残りの半分のかき方を考える。	・点対称な図形を作図することができる。	
		(四角形や三角形と対称)	⑨既習の四角形や三角形を、線対称、点対称の観点から考察することができる。	・いろいろな四角形や三角形を、線対称、点対称の観点で調べる。		

		(正多角形と対称)	⑩正多角形を線対称、点対称の観点から考察することができる。	・正多角形を、線対称、点対称の観点で調べる。 ・正多角形について線対称、点対称の観点で調べたことから、きまりを見つける。		たにたりしている。
1	5 2 3 4	まとめ	⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「対称な図形」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・既習の図形の見方などをもとに、対称な図形の性質や構成のしかたを主体的に考えたり、身のまわりから対称な図形を見つけたりしようとしている。</p>						

■ 対称なデザイン

6月上旬 (1時間)
p.54

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1	5 4		①図形の対称性の美しさやよさに気づき、対称な図形について理解を深める。	・身のまわりから、対称性を生かしたデザインを見つける。 ・対称なデザインのマークをつくる。		・身のまわりから対称な図形を見つけ、対称な図形の美しさや機能性などについて考えている。

◎ 復習③

頁	学習活動
5 5	・「分数と整数のかけ算、わり算」の復習をする。 ・単元4「分数のかけ算」、単元5「分数のわり算」に関わる既習事項を確認する。

4 分数のかけ算

6月上旬～下旬（11時間）
p.56～69

◆単元の目標と評価規準

○乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)イ(ア)(イ)(ウ)、A(1)イ(ア)、内(1)(2)】

- ・乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、分数の乗法の計算ができる。また、分数の乗法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。<知・技>
- ・分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、乗数が分数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・分数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
9	5 6 5 6 6	(面積や体積の公式) (計算のきまり) (逆数)	①②分数×単位分数の意味、計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんな計算になるかな？」の活動をきっかけに、1mが4/5kgの棒□mの重さを求める計算に関心をもつ。 ・1mが4/5kgの棒1/3mの重さを求める問題について、数直線や言葉の式をもとに、乗数が分数でも乗法の式で表せることを知る。 ・$4/5 \times 1/3$のような、分数×単位分数の乗法の計算のしかたを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗数が分数である場合の乗法の意味や計算のしかたを、整数や小数の計算の考え方をもとにして、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数をかけることの意味や、乗数が分数である場合の乗法の計算のしかたを、分数の意味や表現、既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。
			③④分数×分数の乗法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$4/5 \times 2/3$のような、分数×分数の乗法の計算のしかたを考え、まとめる。 ★まとめアニメ「分数のかけ算の計算のしかた」を使って確認・説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数×分数の乗法の計算のしかたを理解し、計算ができる。 	
			[つながるミカタ]	<ul style="list-style-type: none"> ・分数×分数の計算のしかたについて、計算のきまりに着目するなどして「かける数を整数にする」という見方を振り返り、ほかの数でも$b/a \times d/c = b \times d / a \times c$の式でできるのかを考えることに興味を広げ、次の問題解決につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数×分数の乗法で約分をする場合や、整数×分数の乗法の計算ができる。 	
			⑤分数×分数の乗法で約分をする場合や、整数×分数の乗法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$15/8 \times 12/5$のような、途中で約分できる乗法の計算のしかたを考える。 ・$2 \times 3/7$のような、整数×分数の乗法の計算のしかたを考える。 		
			⑥小数×分数の乗法の計算や、3口の分数の乗法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$0.3 \times 3/7$のような、小数×分数の乗法の計算のしかたを考える。 ・$3/4 \times 2/5 \times 1/3$のような、3口の分数の乗法の計算のしかたを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数×分数の乗法の計算や、3口の分数の乗法の計算ができる。 	
			⑦分数の場合でも、面積や体積の求積公式が成り立つことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の場合でも、面積や体積の求積公式が成り立つことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辺の長さが分数で表されている場合でも、面積や体積の公式を用いることができることを理解している。 	
			⑧分数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを知る。 ・$5/6 \times 5/3 - 7/12 \times 5/3$の計算のしかたを、分配法則をもとに説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交換法則、結合法則、分配法則が分数でも成り立つことを理解している。 	
⑨逆数について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$2/3 \times \square / \square = 1$や、$7/5 \times \square / \square = 1$の□にあてはまる数考えることをとおして、逆数について知る。 ・$8 \times \square / \square = 1$や、$0.3 \times \square / \square = 1$の□にあてはまる数考えることをとおして、整数や小数の逆数について知る。 ★まとめアニメ「逆数」を使って確認・説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・逆数について理解し、逆数を求めることができる。 				

1	6 7	学んだことを使おう	⑩割合や速さの問題を、 分数の乗法を活用して解 決することができる。	・「分数で考えよう!」という目的意識か ら、割合や速さの問題を分数の乗法を活 用して解決する。		・割合や速さの問題を、分 数の乗法を活用して効率 よく解決するしかたを考え ている。
1	6 8 9	まとめ	⑪学習内容の理解を確 認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本 的な問題を解決すること ができる。	・「分数のかけ算」の学習 のよさや見方・考え方を 振り返っている。
<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。</p> <p>・分数の乗法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。</p>						

5 分数のわり算

6月下旬～7月中旬 (12時間)
p.70～84

◆単元の目標と評価規準

○除数が分数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)、A(1)イ(ア)、内(1)(2)】

- ・除数が分数である場合の除法の意味について理解し、分数の除法の計算ができる。また、分数の除法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。<知・技>
- ・分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、除数が分数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・分数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
7 0 5 8 2	1 1	(積の大きさ、商の大きさ)	①②分数÷単位分数の意味、計算のしかたを理解する。	・「どんな計算になるかな？」の活動をきっかけに、□mが2/5kgの棒1mの重さを求める計算に関心をもつ。 ・1/4mが2/5kgの棒1mの重さを求める問題について、数直線や言葉の式をもとに、除数が分数でも除法の式で表せることを知る。 ・2/5÷1/4のような、分数÷単位分数の除法の計算のしかたを考える。	・除数が分数である場合の除法の意味や計算のしかたを、整数や小数の計算の考え方をもとにして、理解している。	・分数でわることの意味や、除数が分数である場合の除法の計算のしかたを、分数の意味や表現、既習の計算などをもとに図や式などを用いて多面的に考えている。
			③④分数÷分数の除法の計算のしかたを理解する。	・2/5÷3/4のような、分数÷分数の除法の計算のしかたを考え、まとめる。 ★まとめアニメ「分数のわり算の計算のしかた」を使って確認・説明する。	・分数÷分数の除法の計算のしかたを理解し、計算ができる。	
			[つながるミカタ]	・分数÷分数の計算のしかたについて、逆数に着目して「わる数を1にする」という見方を振り返り、ほかの数でも $b/a \div d/c = b/a \times c/d$ の式でできるのかを考えることに興味を広げ、次の問題解決につなげる。	・分数÷分数の除法で約分をする場合や、整数÷分数の除法の計算ができる。	
			⑤分数÷分数の除法で約分をする場合や、整数÷分数の除法の計算のしかたを理解する。	・3/4÷9/10のような、途中で約分できる除法の計算のしかたを考える。 ・2÷3/7のような、整数÷分数の除法の計算のしかたを考える。		
			⑥小数÷分数の除法の計算や、3口の分数の乗除混合の計算のしかたを理解する。	・0.7÷2/3のような、小数÷分数の除法の計算のしかたを考える。 ・5/6×3/4÷3/8のような、3口の分数の乗除混合の計算のしかたを考え、逆数を用いて乗法だけの式で表せることを知る。	・小数÷分数の除法の計算や、3口の分数の乗除混合の計算ができる。	
			⑦整数や小数、分数の乗除混合の式は、分数の乗法の式で表して計算できることを理解する。	・ $3 \times 2/5 \div 2.1$ 、 $1.5 \div 3/7 \div 4.5$ のような、整数や小数、分数の乗除混合の式は、分数の乗法の式で表して計算できることを知る。 ★まとめアニメ「整数、小数、分数のまじったかけ算、わり算」を使って確認・説明する。	・整数や小数、分数の乗除混合の式は、分数の乗法の式に表せることを理解し、計算ができる。	
			⑧乗数や除数が分数の場合について、乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係を理解する。	・ $15 \times 3/5$ と $15 \times 5/3$ の積の大きさを被乗数の15と比べたり、 $15 \div 3/5$ と $15 \div 5/3$ の商の大きさを被除数の15と比べたりして、乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係をまとめる。 ★まとめアニメ「積の大きさ、商の大きさ」を使って確認・説明する。	・1より小さい分数をかけると積は被乗数よりも小さく、1より小さい分数でわると商は被除数よりも大きくなることを理解している。	

	(倍の計算)	⑨基準量や比較量が分数の場合に、何倍かを求めることができる。(第一用法) ⑩基準量や倍を表す数が分数の場合に、比較量を求めることができる。(第二用法) ⑪比較量や倍を表す数が分数の場合に、基準量を求めることができる。(第三用法)	・ $3/4\text{m}$ は $5/4\text{m}$ の何倍かを求めるしかたを考える。 ・ $2\frac{2}{5}\text{m}^2$ の $2/3$ は何 m^2 かを求めるしかたを考える。 ・水槽に入る水の体積(基準量)の $3/10$ にあたる量が $6/5\text{L}$ のときの、基準量の求め方を考える。	・基準量や比較量が分数の場合に、何倍かを求めることができる。 ・基準量や倍を表す数が分数の場合に、比較量を求めることができる。 ・比較量や倍を表す数が分数の場合に、基準量を求めることができる。	・倍の問題場面の数量関係について、図や式などを用いて考えている。
1	まとめ 8 3 5 8 4	⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 [長針と短針が重なる時刻は?](p.266)	・単元のまとめをする。 ・選択的活動として、時計の長針と短針がぴったり重なる時刻の求め方を、分数の除法を用いて考える。 ★ワークシート「長針と短針が重なる時刻は?」、シミュレーション「時計」を使って活動する。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「分数のわり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・分数の除法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。					

■ 切り紙遊び

7月中旬 (1時間)
p.85

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1	8 5		①対称な図形の性質を振り返り、理解を深める。	・折り紙を折って、一部を切り取り、開いたときにできる形について考えたり、それを線対称、点对称、対称の軸などの言葉を用いて説明したりする。		・図形の対称性に着目し、切り紙遊びの活動でできる形について考えたり表現したりしている。

◎ 復習④

頁	学習活動
8 6 7 5	・「対称な図形」「分数のかけ算」「分数のわり算」の復習をする。 ・単元6「データの見方」に関わる既習事項を確認する。

6 データの見方

9月上旬～中旬（11時間）
p.88～105

◆単元の目標と評価規準

○代表値や、度数分布を表す表とグラフ、及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、統計的な問題解決のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)(イ)(ウ)、D(1)イ(ア)】

- ・代表値の意味や求め方、度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。また、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。<知・技>
- ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断しているとともに、その妥当性について批判的に考察している。<思・判・表>
- ・データを収集したり分析したりすることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
8 8 9 9		(代表値と散らばり)	①データ全体を表す指標としての平均値の意味を理解する。	・「読書チャンピオンを決めよう!」の活動をきっかけに、データを収集、分析することに関心をもつ。 ・人数が異なる2つの組の読書調べの記録について、組全体の比べ方を考え、平均値を求めて比べる場合があることを知る。 ★まとめアニメ「平均値」を使って確認・説明する。	・集団の特徴を表す値として用いられる平均の意味について理解している。	・統計的に解決する問題を設定し、その解決のために適したデータを収集し分類整理して分析して、結論を得ている。また、結論や問題解決の過程が妥当であるかどうかを別の観点や立場から批判的に考察している。
		(度数分布表と柱状グラフ)	②③ドットプロットの意味と用い方や、代表値として最頻値や中央値を用いる場合があることを理解する。	・読書調べの記録について、散らばりの様子をドットプロットに表して特徴や傾向をよみ取る。 ★まとめアニメ「ドットプロット」を使って確認・説明する。 ★シミュレーション「ドットプロットツール(1)」を使って活動する。 ・最頻値、中央値を調べ、代表値の意味を知る。 ★まとめアニメ「最ひん値、中央値」を使って確認・説明する。 ・1組と2組の読書調べの結果について、それぞれの代表値を比べて、気がついたことを話し合う。	・ドットプロットの特徴や用い方、及び最頻値、中央値などの代表値の意味や求め方を理解している。	
			④データの分布の様子を度数分布表に表し、その特徴をよみ取ることができる。	・読書調べの記録について、本の冊数を5冊ごとに区切り、度数分布表に表して、その特徴をよみ取る。また、階級、度数の意味を知る。 ★まとめアニメ「度数分布表」を使って確認・説明する。	・度数分布表の特徴や用い方、階級と度数の意味を理解し、度数分布表に表したりよみ取ったりすることができる。	・度数分布表や柱状グラフからデータ全体の分布の様子を捉えたり、代表値などを用いたりして、問題の結論について判断している。
			⑤度数分布表をもとに柱状グラフに表し、それをよみ取ることができる。	・読書調べの記録の度数分布表をもとに、柱状グラフに表して、その特徴をよみ取る。 ★シミュレーション「柱状グラフツール(1)」を使って活動する。 ★まとめアニメ「柱状グラフ」を使って確認・説明する。	・度数分布を表すグラフとして、柱状グラフの特徴を理解し、柱状グラフに表したりよみ取ったりすることができる。	

		[つながるミカタ]	・データを分析する観点として、「代表値や散らばりの様子」に着目したことを振り返り、データを根拠にして問題の結論を判断することにも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・代表値の意味や求め方、度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの使い方を理解している。	
		⑥⑦様々な観点からデータを分析し、その結果を根拠にして結論をまとめることができる。	・様々な観点で分析した結果を表に整理して気づいたことを話し合い、結論として自分の考えをまとめる。 ★シミュレーション「ドットプロットツール(2)」「柱状グラフツール(2)」を使って活動する。		
		[目的に合った代表値]	・平均値、最頻値、中央値について、それぞれどんな場合に適した代表値であるかを知る。		
	(いろいろなグラフ)	⑧柱状グラフが用いられる場面や見方について理解を深める。	・1970年と2020年の年齢別人口の柱状グラフ(人口ピラミッド)をよみ取り、変化の様子について考察する。		・年齢別人口の柱状グラフ(人口ピラミッド)をよみ取り、変化の様子について多面的に考察している。
		[グラフをよみ取って考えよう]	・日本の総人口と、65才以上の割合の推移を、2050年まで予測したグラフを見て、どのように変化していくと考えられるかをよみ取る。		
2	1 0 0 1 0 3	身のまわりのデータを活用しよう/学んだことを使おう	⑨⑩統計的な問題解決の方法を理解し、身のまわりの問題の解決に活用することができる。 ・統計的な問題解決の方法について知る。 ・「データを分けて、代表を決めよう!」という目的意識から、1組と2組の8の字とびの記録について様々な観点で分析し、その結果を根拠に結論をまとめる。 ★シミュレーション「ドットプロットツール(3)」「柱状グラフツール(3)」「折れ線グラフツール」を使って活動する。 ★外部リンク「なるほど統計学園」を利用してもよい。	・「問題-計画-データ-分析-結論」といった統計的な問題解決の方法を理解している。	・身のまわりの事象について、目的に応じて、統計的な問題解決の方法で考察している。また、結論や問題解決の過程が妥当であるかどうかを別の観点や立場から批判的に考察している。
1	1 0 4 5	まとめ	⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「データの見方」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。</p> <p>・データを分析して問題を解決することについて、目的意識をもって主体的に考えたり、得られた結論の妥当性について批判的に捉え考察したりしようとしている。</p>					

★本単元で、まなびリンク「表計算ソフト教材」を使用して、p.270「いろいろなグラフをつくろう!」の活動を扱うことができる。

◎ 復習⑤

頁	学習活動
1 0 6	・「分数のわり算」の復習をする。 ・単元7「円の面積」に関わる既習事項を確認する。

7 円の面積

9月中旬～10月上旬（9時間）
p.107～119

◆単元の目標と評価規準

○円の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 B(3)ア(ア)、B(3)イ(ア)、内(3)】

- ・円の面積の計算による求め方について理解している。<知・技>
- ・図形を構成する要素などに着目し、円の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。<思・判・表>
- ・円の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
8	107 ～ 117	(円の面積の公式を使って)	①②③円の面積の求め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どちらのピザが大きいかな？」の活動をきっかけに、円の面積の求め方を考えることに興味をもつ。 ・半径10cmの円の面積が、1辺が10cmの正方形の面積の2倍より大きくて4倍より小さいことを調べる。 ・既習の面積の学習で用いてきた方法や考え方をもち、半径10cmの円の面積の求め方を考える。 ★ワークシート「半径10cmの円」を使って活動する。		<ul style="list-style-type: none"> ・円の面積の求め方について、既習の求積可能な図形の面積の求め方などをもとに図や式などを用いて考えている。
			④⑤円の面積の公式を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・円を等分して並べ替え、長方形とみて計算で面積を求めるしかたを考える。 ★シミュレーション「円の面積の求め方」を使って活動する。 ・円の面積の求め方を公式にまとめる。 ★まとめアニメ「円の面積の公式」を使って確認・説明する。 ・円の面積は、半径を1辺とする正方形の3.14倍になっていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半径×半径×円周率の式が、半径を1辺とする正方形の面積の3.14倍を意味していることを理解し、公式を用いて円の面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円を分割して並べ替えた図を既習の求積可能な図形とみて、もとの円の構成要素との関係に着目して、円の面積を求める式を考えている。
			[つながるミカタ]	<ul style="list-style-type: none"> ・円の面積の求め方について、「面積の求め方がわかる形に変える」という見方を振り返り、ほかの図形の面積を求めることにも関心を広げ、次の問題解決につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円の1/4のおうぎ形では、面積も円の1/4になっていることを理解している。 	
			⑥中心角が90°のおうぎ形の面積の求め方を理解する。 中心角が60°のおうぎ形の面積の求め方を、発展的に考えることができる。*	<ul style="list-style-type: none"> ・中心角が90°のおうぎ形の面積を、もとの円の何分の一かを考えて求める。 ・中心角が60°のおうぎ形の面積を、もとの円のどれだけにあたるかを考えて求める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・図形の求積に必要な構成要素を判断し、円の一部分とみられる図形や円などを組み合わせた図形の面積の求め方を、図や式などを用いて考えたり表現したりしている。
			⑦円を組み合わせた図形の面積を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・円を組み合わせた図形の面積の求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円を組み合わせた図形の面積を求めることができる。 	
			⑧半円と直角三角形を組み合わせた図形の面積の求め方を、筋道を立てて説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・半円と直角三角形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、図や式、言葉などを用いて説明する。 		

1	1 1 8 5 1 1 9	まとめ	⑨ 学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「円の面積」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
		[ひもでつくった円の面積]		・円形状に巻いたひもを半径で切り開くと三角形になることから、三角形の面積の公式をもとに円の公式を見直す。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・円の面積の求め方について、既習の求積可能な図形の面積の求め方などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。

■ ピザの面積を比べよう

10月上旬（2時間）

p.120～121

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	1 2 0 5 1 2 1		①② 1つの大きな円の面積と、複数の小さな円の面積が等しくなるとき、その理由について、式に着目して筋道を立てて説明することができる。	・大きなピザ1枚分と、直径がその1/2の小さなピザ4枚分を比べ、面積が等しくなることを式を用いて説明する。 ・大きなピザ1枚分の面積と、直径がその1/3の小さなピザ9枚分の面積が等しくなることを説明する。また、大きなピザをおうぎ形に等分した1切れ分の面積が、小さなピザ1枚分の面積と等しくなるとき、おうぎ形の中心角の大きさを求める。		・1つの大きな円の面積と、複数の小さな円の面積が等しくなるとき、その理由について、式に着目して筋道を立てて考えている。

8 比例と反比例

10月上旬～下旬（13時間）
p.122～144

◆単元の目標と評価規準

○比例の関係について理解し、比例の関係をを用いた問題解決の方法や、反比例の関係について知るとともに、伴って変わる2つの数量の関係について表や式、グラフを用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)(ウ)、C(1)イ(ア)】

・比例の關係の意味や性質を理解している。また、比例の關係を用いた問題解決の方法や、反比例の關係について知っている。<知・技>

・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの關係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの關係を表現して、変化や対応の特徴を見いだしているとともに、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>

・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
7	1 2 3 5	比例	①②日常の場面で、比例する2つの数量に着目することができる。また、比例の關係を利用することで、手際よく問題を解決できる場合があることを理解する。 ※(問題解決力モデル)本時の活動をとおして、問題解決の進め方を学習する。	・「画用紙は全部で何枚あるのかな？」の活動をきっかけに、画用紙の全部の枚数を手際よく調べることに興味をもつ。 ・枚数と重さなどの比例する2つの数量に着目し、表や式などに表して比例の關係を用いて問題を解決する。また、自他の考えを比較し、考え方のよさを振り返ってまとめる。		・比例する2つの数量に着目し、問題の解決のしかたを表や式などを用いて多面的に考えている。
		(比例の式)	③④比例する2つの数量の關係について、表を用いて変化や対応の規則性を考察するとともに、比例の關係を表す式について理解する。	・水槽に水を入れたときの時間と水の深さの關係を表した表をもとに、比例の關係の特徴を詳しく調べ、一方の値が□倍になると他方の値も□倍になることを知る。 ★まとめアニメ「比例」を使って確認・説明する。 ・比例する2つの数量の關係を表で調べ、比例の關係では2つの数量の商が一定になることを捉え、比例の式「 $y=きまった数 \times x$ 」を知る。 ★まとめアニメ「比例の式」を使って確認・説明する。	・比例の關係の意味や性質を理解している。また、比例の關係を表す式が、「 $y=きまった数 \times x$ 」という形で表されることを理解している。	・比例する2つの数量について、目的に応じて表、式、グラフなどの適切な表現を選択して、変化や対応の特徴を考察している。
		(比例のグラフ)	⑤⑥比例のグラフについて理解する。	・比例する2つの数量の關係をグラフに表し、比例のグラフでは、0の点を通る直線になることを知る。 ★まとめアニメ「比例のグラフ」を使って確認・説明する。	・比例の關係を表すグラフが、原点を通る直線として表されることを理解している。	
			⑦比例のグラフをよみ取ることができる。	・電車と自動車の進む時間と道のりの關係を表したグラフについて調べる。	・時間と道のりの比例關係を表したグラフをよみ取ることができる。	

4	1 3 6 5 1 4 1	反比例 (反比例の式とグラフ)	[つながるミカタ]	・比例する関係を調べるときに、「表、式、グラフ」に表して、「変化の様子や対応関係」に着目したことを振り返り、ほかのきまりをもつ数量の関係にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・反比例の関係の意味を理解している。	・反比例する2つの数量について、比例の関係と対比的に捉えて変化や対応の特徴を考察している。
			⑧比例の関係と対比的に捉えて、反比例の意味を理解する。	・面積が24cm ² の長方形の縦と横の長さの関係を表に表し、比例の場合と比較しながら変わり方を調べる。 ・反比例の意味を知る。 ★まとめアニメ「反比例」を使って確認・説明する。		
			⑨⑩反比例する2つの数量の対応関係を調べ、反比例の関係を表す式について理解する。	・反比例する2つの数量の関係を表で調べ、反比例の関係では2つの数量の積が一定になることを捉え、反比例の式「 $y = \text{きまった数} \div x$ 」を知る。 ★まとめアニメ「反比例の式」を使って確認・説明する。	・反比例の関係を表す式が、「 $y = \text{きまった数} \div x$ 」という形で表されることを理解している。	
			⑪比例のグラフと対比的に捉えて、反比例のグラフについて理解する。 [反比例のグラフ]*	・反比例する2つの数量の関係をグラフに表し、反比例のグラフは直線にはならず、比例とは異なる形になることを知る。 ・反比例のグラフは滑らかな曲線になることを知る。	・反比例の関係を表すグラフについて、比例のグラフとの違いを理解している。	
1	1 4 2	学んだことを使おう	⑫日常生活の場面で、具体的な2つの数量が比例の関係にあるとみて、手際よく問題を解決する方法を考えることができる。	・「待ち時間はどれくらい?」という目的意識から、行列での待ち時間の見当をつける場面において、待ち時間が並ぶ人数に比例するとみて、比例を活用して解決する。		・日常生活の中から比例とみられる場面を見だし、比例の関係を生かして問題を解決している。
1	1 4 3 4 5	まとめ	⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「比例と反比例」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・伴って変わる2つの数量の関係について、多面的に捉え検討して特徴を見いだそうとするとともに、生活や学習の中から比例が活用できる場面を見つけ、積極的に生かしていこうとしている。						

◎ 復習⑥

頁	学習活動
1	・「データの見方」「円の面積」の復習をする。
4	・単元9「角柱と円柱の体積」に関わる既習事項を確認する。
5	

9 角柱と円柱の体積

10月下旬～11月上旬（6時間）
p.146～154

◆単元の目標と評価規準

○角柱及び円柱の体積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、体積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 B(4)ア(ア)、B(4)イ(ア)】

- ・角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解し、それらの体積を公式を用いて求めることができる。<知・技>
- ・図形を構成する要素に着目し、角柱及び円柱の体積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。<思・判・表>
- ・角柱及び円柱の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
4	1 4 6 5 1		①底面が長方形の四角柱(直方体)の体積の求め方を考え、底面積×高さの式で求められることを理解する。	・「どの立体の体積が大きいかな?」の活動をきっかけに、角柱、円柱の体積の求め方を考えることに興味をもつ。 ・底面が長方形の四角柱(直方体)の体積の求め方を考え、底面積×高さの式で求められることを知る。	・底面積の意味を知り、底面が長方形の四角柱(直方体)の体積は底面積×高さの式で求められることを理解している。	・角柱及び円柱の体積の求め方について、既習の体積や面積の学習と関連づけて考えると、体積を求める式を振り返り、どんな角柱も円柱も、底面積×高さの式で求められることを統合的に捉え直している。
			②③三角柱、四角柱の体積の求め方を理解する。	・三角柱、四角柱の体積の求め方を考え、どちらの角柱も底面積×高さの式で求められることを知る。	・三角柱、四角柱の体積の求め方を理解し、求めることができる。	
			[つながるミカタ]	・角柱の体積は、「高さが1cmの体積を表面積におきかえて」考えることで、「底面積と高さ」を使って求められたことを振り返り、円柱の体積にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・円柱の体積の求め方を理解し、求めることができる。また、角柱、円柱の体積の公式を理解している。	
			④円柱の体積の求め方を理解し、角柱、円柱の体積の公式を理解する。	・円柱の体積の求め方を考え、底面積×高さの式で求められることを知る。 ・角柱、円柱の体積の求め方を統合的に捉え、公式にまとめる。 ★まとめアニメ「角柱、円柱の体積の公式」を使って確認・説明する。		
			[面を動かしてできる立体]*	・角柱や円柱について、面を動かしてできる立体という見方で捉え直す。		
1	1 5 2	学んだことを使おう	⑤体積が等しい円柱と角柱の表面積の違いに着目して、円柱の特徴について理解を深める。*	・「円柱と角柱を比べよう!」という目的意識から、体積が等しい円柱と角柱の周りの面積を比べる。 ・p.153の[算数ひろば]を読み、表面積の意味を知る。	・体積が等しい円柱と角柱では、表面積は円柱のほうが大きくなることを調べ、円柱の特徴について理解を深めている。	
1	1 5 3 4	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「角柱と円柱の体積」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[算数ひろば]*	・立体の周りの面積のことを表面積ということを知る。		
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。						
・角柱及び円柱の体積の求め方について粘り強く考えたり、その過程を振り返り見方や考え方のよさに気づき、ほかの図形の体積の求め方を考える場合にも活用しようとしていたりしている。						

◎ 復習⑦

頁	学習活動
1	・「比例と反比例」の復習をする。
5	・単元10「比」に関わる既習事項を確認する。
5	

10 比

11月上旬～下旬（9時間）
p.156～168

◆単元の目標と評価規準

○比について理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらうことができるとともに、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、比を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】

- ・比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらうことができる。<知・技>
- ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>

・比について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
7	156 157 158 159 160 161 162	(比と比の値)	①②比の意味と表し方、比の相等、比の値について理解する。	・「同じ味を作るには？」の活動をきっかけに、同じ味のミルクコーヒーの作り方について関心をもつ。 ・ミルクコーヒーのミルクとコーヒーの量の割合を考える場面をとおして、2つの数量の割合を比で表すしかたを知る。 ★まとめアニメ「比」を使って確認・説明する。 ・2:3と4:6の関係を調べ、これらの「比は等しい」ことを知る。また、比の値の意味を知る。 ★まとめアニメ「等しい比」「比の値」を使って確認・説明する。	・比の意味や表し方を理解している。また、2つの比が等しいときは、比の値が等しくなることを理解している。	・比の意味や、「比は等しい」ことの意味について、図や式を用いたり割合と関連づけたりして考えている。
		(比の性質)	③比の性質について理解する。	・2:3=10:□の□にあてはまる数考えることをとおして、比の性質を知る。 ★まとめアニメ「比の性質」を使って確認・説明する。	・比の前の数と後ろの数に同じ数をかけたり、同じ数でわったりしてできる比は、すべて等しい比になることを理解している。	
		④比の性質を用いて、比を簡単にすることができる。	・6:8と9:12の関係を調べ、「比を簡単にする」しかたを知る。	・比の性質をもとに、整数どうしの比を簡単にすることができる。		
		[比の性質と似ている関係]	・比の性質に関連して、わり算のきまり、分数の性質、比例について振り返り、似ているところを話し合う。			
		⑤小数や分数で表された比を簡単にすることができる。	・1.5:2.4や3/4:2/3のような、小数や分数で表された比を簡単にするしかたを考える。	・比の性質をもとに、小数や分数の比を簡単にすることができる。		
		[3つの数の比]	・3つの量の割合を比で表せることを知る。(連比)			
		[つながるミカタ]	・比について、「割合を2つの数で表す」という意味を振り返り、身のまわりで比を活用することに関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・比の性質をもとに、2つの比から部分の数量を求めることができる。	・比を用いた比べ方を日常生活に生かす問題で、数量の関係を図や式などに表して考えている。	
(比を使って)	⑥等しい比の性質をもとに、2つの比から部分の数量を求めるしかたを考えることができる。	・縦と横の長さの比が3:4になるように長方形の旗を作る場面で、横の長さを60cmにすると、縦の長さを何cmにすればよいかを考える。				
⑦部分どうしの比がわかっているときに、全体の数量から部分の数量を求めるしかたを考えることができる。(比例配分)	・くじの数を考える場面で、全部の数が120枚で、当たりくじとはずれくじの比が3:7になるようにするには、当たりくじの数を何枚にすればよいかを考える。	・比の性質をもとに、全体の数量から部分の数量を求めることができる。				
1	166	学んだことを使おう	⑧日常生活の場面で、必要な情報を選択して、比を用いて問題を解決することができる。	・「写真から身長を求めよう!」という目的意識から、入学時の写真の中の身長や校門の高さ、現在の身長と実際の校門の高さなど、必要な情報を考えて、比を用いて解決する。 ・卒業式で入学式のときと同じように写真を撮る場合の、写真の中の身長の求め方を考える。		・日常生活の事象について、比によって数量の関係を表現できる場合があることに着目し、比を用いて問題を解決している。

1	1 6 8	1 6 7 5	まとめ	⑨ 学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 [正確な割合で分けるには?](p.267)	・単元のまとめをする。 ・選択的活動として、円筒分水のしくみを 知り、定められた割合で分けられた水の 量の求め方を、比を用いて考える。 ★ワークシート「正確な割合で分けるに は?」を使って活動する。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「比」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・比を用いて比べるような具体的な場面について、その意味や比べ方を粘り強く考えたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。</p>				

■ うさぎとかめ

11月下旬 (1時間)
p.169

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1	1 6 9		① グラフから伴って変わる2つの数量の関係をよみ取り、関数グラフについての理解を深める。*	・「うさぎとかめ」のお話を表したグラフから、時間や道のりをよみ取ったり、かけっこの勝ち負けを判断したりする。		・時間と道のりの関係を表したグラフをよみ取り、かけっこの勝ち負けについて考え判断している。

11 拡大図と縮図

11月下旬～12月中旬（11時間）
p.170～186

◆単元の目標と評価規準

○拡大図や縮図について理解し、2つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察したり、構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)、B(1)イ(ア)】

- ・拡大図や縮図について理解し、それらの図形を作図することができる。<知・技>
- ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・拡大図や縮図について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
8	170 181	(拡大図と縮図のかき方)	①拡大図、縮図の意味、対応する辺の長さや角の大きさについて理解する。	・「大きさを変えてみると…?」の活動をきっかけに、同じ形で大きさが違う形ともとの形との関係について関心をもつ。 ・大きさは違っても同じに見える形について、対応する辺の長さや角の大きさを調べ、拡大図、縮図の意味を知る。 ★まとめアニメ「拡大図と縮図」を使って確認・説明する。	・拡大図、縮図の意味や、拡大図や縮図では対応する辺の長さの比は等しく、対応する角の大きさも等しいことを理解している。	・2つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察している。
			[つながるミカタ]	・大きさは違っても同じに見える形について、「対応する角の大きさと辺の長さの比」に着目して関係を調べたことを振り返り、拡大図と縮図の作図にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・方眼を使って、拡大図や縮図を作図することができる。	・拡大図や縮図の作図のしかたを、それらの性質や合同な図形などの既習事項をもとに考えている。
			②方眼を使って拡大図、縮図を作図することができる。	・対応する辺の長さ、対応する角の大きさに着目して、方眼上に拡大図、縮図をかき。		
			③④三角形の拡大図、縮図を作図することができる。	・合同な三角形のかき方をもとに、三角形の拡大図、縮図の作図のしかたを考える。	・対応する辺の長さの比や角の大きさをういて、三角形の拡大図や縮図を作図することができる。	
		⑤1つの点を中心にして、三角形の拡大図を作図することができる。	・三角形の1つの点を中心、辺の長さを2倍にした拡大図のかき方を考える。	・1つの点を中心にして、三角形の拡大図や縮図を作図することができる。		
		⑥1つの点を中心にして、四角形の拡大図、縮図を作図することができる。	・四角形の1つの点を中心、辺の長さを2倍や1/2にした拡大図、縮図のかき方を考える。	・1つの点を中心にして、四角形の拡大図や縮図を作図することができる。		
		⑦拡大図、縮図という観点から考察し、既習の図形を捉え直すことができる。	・これまで学習してきた多角形について、拡大図、縮図の関係になっているかどうかを調べる。		・対応する辺や角に着目し、拡大図、縮図という観点から既習の図形について考察している。	
		(縮図の利用)	⑧縮尺の意味と表し方を知り、縮図上の長さを実際の長さの関係を理解する。	・縮尺が1/2000の縮図をもとに、実際の長さの求め方を考える。	・縮尺の意味と表し方を理解し、縮図をもとに実際の長さを求めることができる。	

2	1 8 2 5 1 8 4	学んだことを使おう	<p>⑨⑩縮図を活用して、実際には測定しにくい高さの求め方を考えることができる。</p> <p>[角度測定器を作ろう]</p> <p>[つながるミカタプラス]</p>	<p>・「縮図を使って木の高さを求めよう!」という目的意識から、測定可能などの長さをもとに縮図に表すことによって、実際には測定しにくい木の高さを求める。</p> <p>・見上げた角度を測定するための測定器の作り方を知る。</p> <p>・「同じしくみとみる」という見方について、合同な図形を1倍の拡大図とみることで、作図のしかたなどの共通性が捉えられたことを振り返るとともに、角柱や円柱の体積公式を底面積×高さとしてまとめたり、整数、小数、分数の乗法、除法を分数の乗法としてまとめたりしたことに着目し、統合的な見方のよさを振り返る。</p>	<p>・縮図を用いて、実際には測定しにくい長さの求め方を考えている。</p>
		まとめ	<p>⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <p>[拡大教科書を調べよう!](p.268)</p>	<p>・単元のまとめをする。</p> <p>・選択的活動として、拡大教科書の文字が教科書紙面の約何倍に拡大されているかを、対応する要素に着目して求める。 ★ワークシート「拡大教科書を調べよう!」を使って活動する。</p>	<p>・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>・「拡大図と縮図」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>
<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。</p> <p>・既習の図形の見方などをもとに、拡大図や縮図の性質や構成のしかたを主体的に考えたり、拡大図や縮図を身のまわりから見つけたりしようとしている。</p>					

● およその面積と体積

12月中旬（2時間）
p.187～189

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	187 188 189	(およその面積)	①身のまわりにある形の概形を捉えて、およその面積を求めることができる。	・横浜市のおよその面積を、概形を捉えて面積の公式を用いて求める。	・身のまわりにある形の概形を捉えて、およその面積を求めることができる。	・身のまわりにある形のおよその面積や体積を求める場合に、概形を捉えて測定しやすい図形とみたり、測定しやすい図形に分割したりすることを考えている。
		(およその体積)	②身のまわりにある形の概形を捉えて、およその体積を求めることができる。	・跳び箱のおよその体積を、概形を捉えて体積の公式を用いて求める。	・身のまわりにある形の概形を捉えて、およその体積を求めることができる。	
<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。</p> <p>・身のまわりにある形について、その概形を捉えておよその面積を求めようとしたり、生活や学習に活用しようとしたりしている。</p>						

■ 地上絵をかこう

12月下旬（2時間）
p.190～191

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	190 191		①②校庭に地上絵(原図の50倍の拡大図)をかく方法を理解する。	・ナスカの地上絵に関心をもち、地上絵をかくという目的意識から、拡大図のかき方を活用して計画を立てて校庭に50倍の拡大図をかく。		・拡大図のかき方を日常生活の問題解決に生かしている。

◎ 復習⑧

時	頁	学習活動
	192 193	・「角柱と円柱の体積」「比」「拡大図と縮図」「分数のわり算」の復習をする。

12 並べ方と組み合わせ

1月上旬～下旬（8時間）
p.194～205

◆単元の目標と評価規準

○起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知り、落ちや重なりなく調べる方法を考察する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(2)ア(ア)、D(2)イ(ア)】

- ・起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知っている。<知・技>
- ・事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。<思・判・表>
- ・起こり得る場合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
6	1 9 4 5 2 0 2	(並べ方)	①ものの並べ方について、起こり得る場合を順序よく整理し、落ちや重なりがないように調べる方法を考えることができる。	・「メロディーは何種類？」の活動をきっかけに、ものの並べ方を落ちや重なりがないように調べるしかたを考えることに関心をもつ。 ・3つの音を並べる場面で、すべての場合を落ちや重なりがないように調べるしかたを考え、観点を決めて順序よく調べたり、図に表して調べたりする。		・ものの並べ方について、落ちや重なりがないように図や表を適切に用いたり、名前を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道を立てて考えている。
		②ものの並べ方について、起こりうる場合を順序よく整理して調べることができる。	・4つの音を並べる場面で、すべての場合を落ちや重なりがないように調べる。	・ものの並べ方について、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。		
		③全体のうち一部を取り出した場合のものの並べ方について、起こりうる場合を順序よく整理して調べることができる。	・4人の中から班長と副班長を決める場面で、すべての場合を落ちや重なりがないように調べる。	・全体のうち一部を取り出した場合のものの並べ方を、順序よく整理して調べることができる。		
		[つながるミカタ]	・並べ方を落ちや重なりがないように調べる場合に、「図に表して順序よく」考えたことのよさを振り返り、この方法をほかの場面でも用いることに関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・ものの組み合わせ方について、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。	・ものの組み合わせ方について、落ちや重なりがないように図や表を適切に用いたり、名前を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道を立てて考えている。	
		④⑤ものの組み合わせ方について、起こり得る場合を順序よく整理し、落ちや重なりがないように調べる方法を考えることができる。	・4チームの総当たり戦の試合の組み合わせについて、すべての場合を落ちや重なりがないように調べるしかたを考え、観点を決めて順序よく調べたり、図や表に表して調べたりする。			
		[2つを選ぶ組み合わせの調べ方]	・いくつかの中から2つを選ぶ組み合わせを調べるときの、いろいろな調べ方を知る。			
		⑥ものの組み合わせ方について、補集合に着目して調べる場合を理解する。	・4種類の菓子から3種類を選ぶときの組み合わせについて、すべての場合を落ちや重なりがないように調べる。 ・4種類の菓子から3種類を選ぶことは、残す1種類を選ぶことと同じであることを知る。	・4種類から3種類を選ぶときの組み合わせ方を、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。		
[リーグ戦とトーナメント戦]	・リーグ戦とトーナメント戦の対戦方式の違いを知り、トーナメント戦で優勝が決まるまでの試合数について考える。					
1	2 0 3	学んだことを使おう	⑦日常生活の場面で、条件に合うものの選び方を筋道を立てて考えることができる。	・「注文のしかたを考えよう!」という目的意識から、レストランのメニューを見て、条件に合う注文のしかたを落ちや重なりがないように調べる。		・問題の条件をよみ取り、条件に合う組み合わせ方を、順序よく筋道を立てて考えている。

1	2 0 4 5	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「並べ方と組み合わせ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[安全なパスワードを考えよう!](p.269)*	・選択的活動として、暗証番号やパスワードについて知り、4つの数字や文字で何通りのパスワードができるかを考える。 ★ワークシート「安全なパスワードを考えよう!」を使って活動する。		
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・起こり得る場合を順序よく整理する方法について、多面的に捉え検討したり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとしていたりしている。						

● 算数を使って考えよう

1月下旬 (2時間)
p.206~209

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	2 0 6 9	(学級目標)	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・学級目標の達成度について、ドットプロットや代表値、円グラフなどを用いて多面的に検討し、分析の結果について批判的に考察する。		・ドットプロットを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論の妥当性について批判的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
		(なかよし集会)		・なかよし集会の準備の場面で、的当てゲームの的の面積の違いについて、式を用いて説明する。 ・120個のメダルを20分で作るには何人で作ればよいかを、表を用いて反比例の関係に着目して解決する。 ・今できているメダルの個数の求め方を、メダルの個数と重さの比例関係に着目して説明する。		・日常の場面から算数の問題を見だし、目的に応じて言葉や式などを用いて解決のしかたを説明するなど、算数の学習を活用して考え表現している。
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。						

◎ 6年のまとめ

1月下旬 (2時間)
p.210~213

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	2 1 0 3		①②第6学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算、図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。	・第6学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・第6学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。						

◎ 算数をふり返ろう! もっと楽しもう!

2月上旬～3月中旬 (23時間)
p.214～245

(算数のまとめ/Let's Try)

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
	214 215			・このコーナーは、総復習の問題「算数のまとめ」と、算数を楽しむチャレンジ問題「Let's Try」で構成されていることを知り、自分で学習計画を立てるなどして、主体的に取り組む意欲を高める。		
	106 107 108 109 110	算数のまとめ	①～⑩小学校の学習内容の問題を解決することができる。	・以下の問題に取り組む 1 数のしくみ 2 計算 3 計算のきまりと式 4 平面図形 5 立体図形 6 面積、体積 7 量と単位 8 比例と反比例 9 数量の変化と関係 10 表とグラフ	・小学校の算数の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	
	232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245	Let's Try 数学へのとびら (0より小さい数)* (方眼にかいた正方形)* (直角三角形のひみつ)* (平方と立方)* (さいころの目の出やすさ)* パズルのとびら (一筆がき) (にせものコインを探せ!) (積み木の数は?) (ハノイのとう)	①～⑤小学校の算数の学習を広げ、中学数学の理解の基礎となる内容に触れることをとおして、算数・数学への関心を高める。 ⑥～⑨算数を活用して解決するパズルに取り組み、筋道を立てて考えるよさや楽しさを味わう。	・正の数、負の数の素地として、身のまわりにある負の数について考えたり、数直線上の位置をもとに数の大小を考えたりする。 ・3cm四方の方眼に斜めにかかれた四角形について、正方形であることを筋道を立てて説明したり、その面積を工夫して求めたりする。また、平方根の素地として、面積が5cm ² の正方形の1辺の長さ($\sqrt{5}$)に近い値を電卓で求める。 ・三平方の定理について、3辺がすべて整数値になる直角三角形を例にして、実際に計算して確かめる。 ・平方や立方の表し方をもとに、累乗の表し方を知る。 ★シミュレーション「九九の表」を使って活動する。 ・確率の素地として、2つのさいころの目の出やすさを表を用いて調べる。 ・一筆がきができる図形の条件を調べ、ケーニヒスベルクの橋で1回ずつすべての橋を通ることができるかどうかを筋道を立てて考える。 ・秤を1回だけ使って偽物のコインが入った袋を見つける方法を考え、筋道を立てて説明する。 ・どの面にも色が塗られていない積み木の数を、色が塗られた積み木の数に着目して、場合分けをして順序よく求める。 ・ハノイの塔のパズルのルールを知り、少ない枚数から順序よく調べる。また、枚数を増やした場合についても発展的に考える。		

歴史のとびら (小町算)	⑩⑪和算の問題に取り組 み、算数の普遍性を感じ るとともに、筋道を立てて 考えるよさや楽しさを味わ う。	・小町算のルールを知り、1～9まで順に 並んだ数に加減乗除の演算記号をあて はめて、式を完成させる。
(俵杉算)		・俵杉算のしくみを知り、米俵が1段、2 段、…、5段の場合を調べて規則性を見 つけ、13段の場合の合計の数を求める。 ★外部リンク「江戸の数学」を利用しても よい。
社会のとびら (国でちがう数の 表し方)*	⑫⑬算数と生活との結び つきを知り、算数を学ぶよ さを味わう。	・日本語と英語の数の表し方を比べて、 規則性の違いなど、気がついたことを話 し合う。
(点字のしくみ)		・点字は6つの点で1つの文字を表して いることを知り、いくつかの点字の例から 規則性を見だし、点字の五十音表を完 成させる。 ★外部リンク「点字入門」を利用してもよ い。
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の算数の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。 ・算数の問題に関心をもち主体的に取り組んだり、数学のよさに気づき、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 		

■ 表計算ソフトに挑戦 「いろいろなグラフをつくろう！」

頁	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)
1	・表計算ソフトでつくったグラフについて、もとの表のデータとの関係を調べる。また、表計算ソフトを使っていろいろなグラフをつくる。
5	★表計算ソフト教材「いろいろなグラフをつくろう！」を使って活動する。
2	

年間指導計画（月別指導計画）

学年	6	教科	算数
----	---	----	----

月	週数	単元・章	時数	留意事項	資質・能力
4 (15)	3	算数をはじめよう！ p. 2～9 算数で使いたい考え方 ●不思議なパスカルの三角形 全国学力調査・解き直し 学力テスト チャレンジテスト	2 2 1 1		
5 (15)	6	①文字を使った式 ◎ふくしゅう①	7 1		※主体性・協働性
6 (20)	10	②分数と整数のかけ算，わり算 ③対称な図形 ◎ふくしゅう② ■対称なデザイン	8 12 1 1		※主体性・協働性 ※主体性・協働性
7 (15)	13	④分数のかけ算 ⑤分数のわり算 ■切り紙遊び ◎ふくしゅう③ 予備時間	12 13 1 1 1		※主体性・協働性 ※主体性・協働性 ※主体性
8 (5)	14	⑥データの見方	12		
9 (20)	18	⑦円の面積 ■ピザの面積を比べよう ⑧比例と反比例	10 1 13		※協働性
10 (20)	22	◎ふくしゅう④ ⑨角柱と円柱の体積 ◎ふくしゅう⑤	1 7 1		
11 (20)	26	⑩比 ⑪拡大図と縮図 ●およその面積と体積 ◎ふくしゅう⑥	10 11 2 1		※主体性
12 (15)	29	■地上絵をかこう ⑫並べ方と組み合わせ チャレンジテスト	2 9 1		
1 (5)	30	●算数を使って考えよう ◎6年のまとめ ◎算数のまとめ	2 2 10		※主体性 ※主体性
2 (15)	33	◎開け！算数ワールド ◎ステップアップ算数	12		
3 (10)	35	◎広がる算数 全国学力調査再実施	1	予備3	
計175	35		175		

「特別の教科 道徳」の内容一覧表(学習指導要領 一部改正 平成27(2015)年3月27日告示)

視点	標語	小学校 第1学年及び第2学年(19項目)		小学校 第3学年及び第4学年(20項目)		小学校 第5学年及び第6学年(22項目)		中学校(22項目)		標語
		一部改正	現No.	一部改正	現No.	一部改正	現No.	一部改正	現No.	
A 主として自分自身に関する事	善悪の判断, 自律, 自由と責任	よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。	1-(3)	正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと。	1-(3)	自由を大切に, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること。	1-(3)	自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	1-(3)	自主, 自律, 自由と責任
	正直, 誠実	うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。	1-(4)	過ちは素直に改め, 正直に明るい心で生活すること。	1-(4)	誠実に, 明るい心で生活すること。	1-(4)			
	節度, 節制	健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切に, 身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする。	1-(1)	自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする。	1-(1)	安全に気を付けることや, 生活習慣の大切さについて理解し, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛けること。	1-(1)	望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, 安全で調和のある生活をする。	1-(1)	節度, 節制
	個性の伸長	自分の特徴に気付くこと。	★新	自分の特徴に気付くこと, 長所を伸ばすこと。	1-(5)	自分の特徴を知って, 短所を改め長所を伸ばすこと。	1-(6)	自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	1-(5)	向上心, 個性の伸長
	希望と勇気, 努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	1-(2)	自分でやろうと決めた目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜くこと。	1-(2)	より高い目標を立て, 希望と勇気を持ち, 困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	1-(2)	より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇気を持ち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	1-(2)	希望と勇気, 克己と強い意志
	真理の探究					真理を大切に, 物事を探究しようとする心をもつこと。	1-(5)	真実を大切に, 真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	1-(4)	真理の探究, 創造
B 主として人との関わりに関する事	親切, 思いやり	身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。	2-(2)	相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。	2-(2)	誰に対しても思いやりの心を持ち, 相手の立場に立って親切にすること。	2-(2)	思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。	2-(2)	思いやり, 感謝
	感謝	家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	2-(4)	家族など生活を支えてくれた高齢者などに, 尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	2-(4)	日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し, それに応えること。	2-(5)		2-(6)	
	礼儀	気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接すること。	2-(1)	礼儀の大切さを知り, 誰に対しても真心をもって接すること。	2-(1)	時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接すること。	2-(1)	礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること。	2-(1)	礼儀
	友情, 信頼	友達と仲よくし, 助け合うこと。	2-(3)	友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。	2-(3)	友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。	2-(3)	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	2-(3)	友情, 信頼
	相互理解, 寛容			自分の考えや意見を相手に伝えるとき, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること。	★新	自分の考えや意見を相手に伝えるとき, 謙虚な心を持ち, 広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	2-(4)	自分の考えや意見を相手に伝えるとき, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。	2-(5)	相互理解, 寛容
C 主として集団や社会との関わりに関する事	規則の尊重	約束やきまりを守り, みんなが使う物を大切にすること。	4-(1)	約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守る。	4-(1)	法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り, 自他の権利を大切に, 義務を果たすこと。	4-(1)	法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守るとともに, そのよりよい在り方について考え, 自他の権利を大切に, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること。	4-(1)	遵法精神, 公德心
	公正, 公平, 社会正義	自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。	★新	誰に対しても分け隔てをせず, 公正, 公平な態度で接すること。	★新	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく, 公正, 公平な態度で接し, 正義の実現に努めること。	4-(2)	正義と公正さを重んじ, 誰に対しても公平に接し, 差別や偏見のない社会の実現に努めること。	4-(3)	公正, 公平, 社会正義
	勤労, 公共の精神	働くことのよさを知り, みんなのために働くこと。	4-(2)	働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働くこと。	4-(2)	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに, その意義を理解し, 公共のために役に立つことをすること。	4-(2)	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	4-(2)	社会参画, 公共の精神
	家族愛, 家庭生活の充実	父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 家族の役に立つこと。	4-(3)	父母, 祖父母を敬愛し, 家族みんなと協力し合って楽しい家庭をつくること。	4-(3)	父母, 祖父母を敬愛し, 家族の幸せを求めて, 進んで役に立つことをすること。	4-(3)	父母, 祖父母を敬愛し, 家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	4-(6)	家族愛, 家庭生活の充実
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しくすること。	4-(4)	先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	4-(4)	先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくること, 様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	4-(6)	教師や学校の人々を敬愛し, 学級や学校の一員としての自覚をもち, 協力し合ってよりよい校風をつくること, 様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	4-(7)	よりよい学校生活, 集団生活の充実
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつこと。	4-(5)	我が国や郷土の伝統と文化を大切に, 国や郷土を愛する心をもつこと。	4-(6)	我が国や郷土の伝統と文化を大切に, 先人の努力を知り, 国や郷土を愛する心をもつこと。	4-(7)	郷土の伝統と文化を大切に, 社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め, 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 進んで郷土の発展に努めること。	4-(8)	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度
	国際理解, 国際親善	他国の人々や文化に親しむこと。	★新	他国の人々や文化に親しみ, 関心をもつこと。	4-(6)	他国の人々や文化について理解し, 日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。	4-(8)	世界の中の日本人としての自覚をもち, 他国を尊重し, 国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与すること。	4-(10)	国際理解, 国際貢献
D 主として生命や自然に関する事, 崇高な事	生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り, 生命を大切にすること。	3-(1)	生命の尊さを知り, 生命あるものを大切にすること。	3-(1)	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し, 生命を尊重すること。	3-(1)	生命の尊さについて, その連続性や有限性なども含めて理解し, かけがえのない生命を尊重すること。	3-(1)	生命の尊さ
	自然愛護	身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接すること。	3-(2)	自然のすばらしさや不思議さを感じ取り, 自然や動植物を大切にすること。	3-(2)	自然の偉大さを知り, 自然環境を大切にすること。	3-(2)	自然の崇高さを知り, 自然環境を大切にすることの意義を理解し, 進んで自然の愛護に努めること。	3-(2)	自然愛護
	感動, 畏敬の念	美しいものに触れ, すがすがしい心をもつこと。	3-(3)	美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	3-(3)	美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつこと。	3-(3)	美しいものや気高いものに感動する心を持ち, 人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること。	3-(2)	感動, 畏敬の念
	よりよく生きる喜び					よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し, 人間として生きる喜びを感じる。	★新	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し, 人間として生きることの喜びを見いだすこと。	3-(3)	よりよく生きる喜び